

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）平成 18 年 8 月 18 日

上場会社名 クラスターテクノロジー株式会社

コード番号：4240 G

（URL <http://www.cluster-tech.co.jp/>）

上場取引所 大阪証券取引所

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 安達 稔

ニッポン・ニュー・マーケット 「ヘラクレス」

責任者役職・氏名 取締役管理本部長 簡牛 千秋

TEL：(06) 6726 2711

1 四半期財務・業績の概況の作成等に係る事項

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有
 新株発行費については、従来、支出時に全額費用として処理しておりましたが、当第 1 四半期会計期間より 3 年間で均等償却する方法に変更しております。
 この変更により、従来と同一の基準によった場合に比べ、経常損失及び税引前四半期純損失がそれぞれ 34,101 千円少なく計上されております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況：無

公認会計士又は監査法人による関与の有無：無

2 平成 19 年 3 月期第 1 四半期の財務・業績概況（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19 年 3 月期第 1 四半期	149	48	45	45
18 年 3 月期第 1 四半期				
(参考)18 年 3 月期	705	124	137	138

	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 1 四半期	881 37	
18 年 3 月期第 1 四半期		
(参考)18 年 3 月期	7,484 89	

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
 2. 当第 1 四半期が第 1 四半期会計期間に係る開示の初年度であるため、対前年同期比増減率は記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期のわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資の拡大、雇用環境の改善も踏まえた個人消費の増加など景気は緩やかな回復基調で推移するものの、原油高の長期化による原材料価格の上昇や長期金利の上昇懸念など不安定要因もあり、依然として先行きに不透明感の漂う状況が続いております。

このような状況の中で、当社の第 1 四半期は、ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業であるデジタル一眼レフカメラ用センサーホルダーが、従来の高級機種に加えて、汎用機種への採用が始まり売上高は 149 百万円となりました。損益面につきましては、将来の事業展開のために新技術の研究・新製品開発として研究開発費 42 百万円を先行投入したこともあり、営業利益 48 百万円、経常利益 45 百万円、四半期純利益 45 百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	2,410	2,264	93.9	39,921 49
18年3月期第1四半期				
(参考)18年3月期	618	352	56.9	13,390 59

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	73	11	1,803	2,095
18年3月期第1四半期				
(参考)18年3月期	49	17	173	353

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の財政状態

財政状態につきましては、総資産は2,410百万円となり、平成18年3月期に比して1,791百万円増加いたしました。これは、公募増資による現金及び預金1,735百万円の増加等によるものです。また、純資産は2,264百万円となり平成18年3月期に比して1,911百万円増加いたしました。これは公募増資による資本金775百万円・資本剰余金1,182百万円の増加等によるものです。

これにより自己資本比率は、37.0ポイント増加の93.9%となりました。

当第1四半期におけるキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純損失が45百万円及びたな卸資産の増加22百万円等により73百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、保険の解約による収入等により11百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、株式の発行による収入等により1,803百万円の収入となりました。

この結果、現金及び現金同等物の増加額は1,741百万円となり、当四半期末の現金及び現金同等物期末残高は、2,095百万円となりました。

3. 平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

[業績予想に関する定性的情報等]

業績は概ね計画通り推移しており、現時点で今期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な資料に基づくため、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる可能性があります。

(添付資料)

4 財務諸表等

【四半期財務諸表】

【四半期貸借対照表】

区分	当第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
1.現金及び預金	2,114,776		378,821	
2.受取手形	8,381		8,652	
3.売掛金	99,500		105,442	
4.たな卸資産	57,835		35,138	
5.その他	5,138		495	
流動資産合計	2,285,632	94.8	528,550	85.4
固定資産				
1.有形固定資産				
(1)機械及び装置	62,183		65,854	
(2)その他	22,386		20,997	
有形固定資産合計	84,570		86,852	
2.無形固定資産	1,887		2,418	
3.投資その他の資産	4,149		1,135	
固定資産合計	90,607	3.8	90,406	14.6
繰延資産	34,118	1.4	30	0.0
資産合計	2,410,358	100.0	618,986	100.0

区分	当第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
1.買掛金	45,693		51,572	
2.1年以内返済予定の長期借入金	4,212		74,204	
3.賞与引当金	5,921		9,665	
4.その他	61,132		85,352	
流動負債合計	116,960	4.9	220,794	35.7
固定負債				
1.長期借入金	27,567		44,267	
2.その他	1,484		1,484	
固定負債合計	29,051	1.2	45,751	7.4
負債合計	146,011	6.1	266,546	43.1
(純資産の部)				
株主資本				
1.資本金	1,234,500		459,300	
2.資本剰余金	1,387,760		205,200	
3.利益剰余金	357,913		312,059	
株主資本合計	2,264,346	93.9	352,440	56.9
純資産合計	2,264,346	93.9	352,440	56.9
負債・純資産合計	2,410,358	100.0	618,986	100.0

当四半期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用しております。なお、平成18年3月期につきましても、便宜上、新基準の表示区分に組替えております。

【四半期損益計算書】

区分	当第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		前事業年度の要約損益計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	
売上高		149,926	100.0	705,075	100.0
売上原価		96,495	64.4	472,900	67.1
売上総利益		53,430	35.6	232,175	32.9
販売費及び一般管理費		102,026	68.0	357,101	50.6
営業損失		48,595	32.4	124,926	17.7
営業外収益		16,446	11.0	1,546	0.2
営業外費用		12,887	8.6	14,580	2.1
経常損失		45,036	30.0	137,960	19.6
特別利益				120	0.1
特別損失		103	0.1		
税引前四半期(当期) 純損失		45,139	30.1	137,839	19.5
法人税、住民税及び事 業税	713			713	
法人税等調整額		713	0.5	713	0.2
四半期(当期)純損失		45,853	30.6	138,552	19.7

【四半期株主資本等変動計算書】

当第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
平成18年3月31日残高	459,300	205,200	312,059	352,440	352,440
当第1四半期中の変動額					
新株の発行	775,200	1,182,560		1,957,760	1,957,760
四半期純損失			45,853	45,853	45,853
当第1四半期中の変動額合計	775,200	1,182,560	45,853	1,911,906	1,911,906
平成18年6月30日残高	1,234,500	1,387,760	357,913	2,264,346	2,264,346

【四半期キャッシュ・フロー計算書】

	当第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	前事業年度の要約キャッシュ・フロー計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期(当期)純損失()	45,139	137,839
減価償却費	8,422	56,619
長期前払費用償却	135	540
賞与引当金の増減額 (減少額)	3,744	1,850
受取利息	5	15
支払利息	176	2,715
保険解約益	14,932	
社債発行差金償却	13	108
有形固定資産除却損	81	
有形固定資産売却益		120
有形固定資産売却損	21	
売上債権の減少額(増加額)	6,212	22,418
たな卸資産の減少額 (増加額)	22,696	2,450
仕入債務の増加額(減少額)	5,879	11,631
未収消費税等の増加額	1,610	
未払消費税等の増加額 (減少額)	6,499	981
未収入金の減少額	300	49,686
前受金の減少額		10,000
その他	12,065	1,922
小計	73,077	45,732
利息の受取額	5	15
利息の支払額	197	3,088
法人税等の支払額	711	712
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,980	49,518

	当第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	前事業年度の要約キャッシュ・フロー計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,600	96,066
定期預金の払戻による収入	9,400	113,415
有形固定資産の取得による支出	5,761	628
有形固定資産の売却による収入	48	1,100
差入保証金の差入による支出	2,548	
保険の解約による収入	14,932	
長期前払費用の支払による支出	601	
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,869	17,820
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加額	30,000	30,000
長期借入れによる収入		50,000
長期借入金の返済による支出	86,692	74,204
社債の償還による支出		30,000
株式の発行による収入	1,920,558	197,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,803,866	173,354
現金及び現金同等物の増加額	1,741,755	141,657
現金及び現金同等物の期首残高	353,792	212,135
現金及び現金同等物の四半期(期末)残高	2,095,548	353,792